

平成 31 年 4 月 25 日 (木)

東京ガーデンパレス 3 階 平安

全国医学部長病院長会議  
平成 31 年度 4 月理事会  
議事録

## 平成 31 年度 4 月理事会 議事録

1 開催年月日： 平成 31 年 4 月 25 日（木）13 時から 16 時半まで

2 開催場所： 東京ガーデンパレス 2 階 平安

3 出席者総数： 50 名  
理 事 24 名

山下 英俊（会長）	羽生田 正行（副会長）	
八重樫伸生	長谷 和生	村越 隆之
北川 昌伸	宮下 俊之	瓜田 純久
田邊 一成	武田 正之	本田 孝行
岩間 亨	内木 宏延	塩田 浩平
村垣 泰光	木村 正	東田 有智
廣岡 保明	丹黒 章	井川 幹夫
木内 良明	内村 直尚	河野 嘉文
山下 秀一		

監 事 2 名

別所 正美  
岡村 吉隆

委員長・座長 14 名

事務局等 8 名

4 欠席者総数： 8 名  
理 事 6 名

三浦 哲嗣	寶金 清博	宮園 浩平
丸毛 啓史	石黒 直樹	赤司 浩一

事務局長より、本日の理事会定足数を満たしていることを報告後、山下会長が議長となり進行した。

5 会長報告：

前回の平成 30 年 11 月 16 日理事会以降から本日までの活動等について報告された。

6 確認事項：

平成 30 年 11 月理事会議事録について、監事より了承されたと報告があった。

7 審議事項：

第 1 号議案

理事候補者について、配布資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、令和元年 5 月 31 日開催の定例社員総会で審議することが併せて了承された。

第 2 号議案

2018 年度事業報告案について、配布資料に基づき説明が行われた。

なお、監事より、事業報告について適正かつ正確に処理されていると報告があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、令和元年 5 月 31 日開催の定例社員総会で審議することが併せて了承された。

第 3 号議案

2018 年度収支決算案について、配布資料に基づき説明が行われた。

なお、監事より、財務諸表について適正かつ正確に処理されていると報告があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、令和元年 5 月 31 日開催の定例社員総会で審議することが併せて了承された。

第 5 号議案

2019 年度事業計画案について、配布資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、令和元年 5 月 31 日開催の定例社員総会で審議することが併せて了承された。

第 4 号議案

2019 年度収支予算案について、配布資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。なお、今回の繰越金の増額は、厚生労働省委託補助金により事務局人件費を賄えたことの影響が大きいこと、増額分は、入試関係の調査や卒後臨床研修の調査など新たな調査研究に充てていくこと、事務局職員を 7 名から 5 名に減らしたことによる

業務量増加に伴う人員増（1名）行うことが報告され、来年度の予算については、今年度の人件費の支出、SDカード収入等を見極めつつ収支予算を策定していくことが報告された。

また、令和元年5月31日開催日開催の定例社員総会で審議することが併せて了承された。

#### 第6号議案

新設医大対応WGの廃止について、配布資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

#### 第7号議案

本会議社員総会へのオブザーバー参加び関連する規則の改正について、配布資料に基づき、新設医学部については、完成年度を待って入会申請を行うこととなるが、Student Doctor 認定証カードの発行等学生に不利益が生じないように配慮することや入会に向けてスムーズに準備を進めていくことが有益である旨の説明があり、原案通り了承された。

また、令和元年5月31日開催日開催の定例社員総会で審議することが併せて了承された。

### 7 報告事項：

#### 1) 各専門委員会委員長・各ワーキンググループ座長報告

##### (1) 専門委委員長会

各専門委員会だけでは取り扱いきれない横断的な事項を審議しており、今年度は医師の確保対策、医師の働き方改革について提言をだすべく検討を行っている旨の報告があった。また、本日配布した資料については、改めて確認していただき、意見等があれば事務局まで提出することとなった。

##### (2) 大学医学部入学試験制度検討小委員会

医学部入試に関する規範を公表したこと、当該規範が文科省における入試のあり方に関する報告に引用されていること、現在行っている入試に関するアンケート調査結果について、集計結果が出てきたので今後検証を進めていくことが報告された。

##### (3) 医学教育委員会

初期臨床研修のあり方について関係団体と意見交換を行い、陳情等をおこなっていること、卒後臨床研修とその後の専門研修とのつながり、卒後臨床研修の合理化について議論

を行っていること、卒後臨床研修で利用している EPOC の卒前研修で利用の可能性の検討と  
いった活動を行っていることが報告された。

#### (4) 医学生の学力に関する検討WG

医学生 of 学力に関するアンケート調査結果の報告が行われ、1 年生での留年率や休学者  
数が増加していることから状況を注視していく旨の発言があり、またストレート卒業率が、  
余り芳しいとは言えない旨の報告があり、地域枠についても地域における医師養成の在り  
方に関する調査実施委員会委員長より低下傾向にあり、パラレルな関係が見て取れる旨の  
発言があった。

#### (5) 卒後臨床研修検討WG

A J M C として卒前・卒後の一貫教育を構築したいという中で、臨床研修制度を卒前と  
専門教育を結ぶ重要な移行期間としてとらえて、どのような改革を行っていくべきかとい  
うことを発信していきたい。その発信に当たっては、ただ、研修制度そのもののアウトプ  
ットあるいはアウトカムに関する実際的な評価が今までなされていないということで、そ  
の評価を行うためのデータを収集するべく臨床研修制度に関するアンケートを行うことを  
予定している旨報告が行われた。シームレス化を進めるうえで、A J M C でつくったコア・  
コンピテンシーを利用するのがよいではないかという発言があった。

#### (6) 共用試験検討委員会

臨床実習後 O S C E に関する要望書を 2019 年 3 月 22 日に会長名で共用試験実施評価  
機構 (CATO) の栗原理事長宛てに提出した旨及び今後 CATO と協議を行い、AJMC と協働し  
て臨床後 OSCE を進めていくよう協議していく旨の報告があった。

#### (7) 動物実験検討委員会

動物愛護法の第 41 条の実験動物に関する規定について議員立法による改正の動きがあ  
ったことから、「第 41 条は改正しない」ことと、動物実験は機関管理になっており日本全  
体の管理となると大変な縛りが出てくるので、機関管理のままで充実させていただきたい  
旨の要望書を他の学術団体と連名にて、各政党党首その他へ提出したことが報告された。

#### (8) 大学病院の医療事故対策委員会

平成 31 年 2 月 8 日付で「関係者の皆様にご理解いただきたいこと」、同 2 月 21 日付「医  
療と刑事司法の関わり方」の 2 つの文書を会員あてに発信したことが報告された。また、  
同 3 月 24 日に医療と刑事司法に関する説明会が開催され、上記 2 文書についての説明や総  
合討論が行われたことが嘉山専門委員会委員長より代理報告された。

#### (9) 大学病院の医療に関する委員会

ゲノム医療の実装化などに関わり様々な検査に関して医療法が改正され、検体検査の規制が厳しくなること、今後医学部の研究室などでやっている検査で、それが診療に用いられる場合の実態について調査の依頼がくることになっている旨の報告があり、アンケート実施の際には、AJMCとして、必要な要望はしっかり伝え行くことが確認された。

#### (10) 臨床系教員の働き方改革WG

厚生労働省の医師の働き方改革に関する検討会報告書について、今後のスキーム、時間外労働時間の上限設定と追加的健康確保措置との関係などについて報告が行われ、医師であり、研究者である大学教員の扱い、兼業の問題が今後検討されていくことが報告された。

また、医師の働き方改革を進めるためにはタスクシフティングが必要であり、その手段の一つとして、特定行為研修群修了看護師を大量に急性期医療に投入することで医師の負担を軽減していくということで各大学病院が指定研修機関になれるようAJMCと国立大学病院長会議の事務局がサポートしてほしい旨の要望が厚生労働省から来ている旨が報告された。

#### (11) 経営実態・労働環境WG

2年に1回行っておりますワーキンググループの調査、診療報酬改定に伴う大学病院の経営状況ということでの調査の準備をしていること、今回は毎回やっている調査事項にタスクシフトに関する調査を追加して行うことにして継続的に調査していくこととした旨の報告があった。

#### (12) 臨床研究・利益相反委員会

去年つくった組織COIガイダンスの英文化したこと、は臨床研究法の実施に関するの情報収集と厚労省研発との意見交換、あるいは他の団体との連携を図るということを行ってきた旨報告された。また、Q&Aがどんどん増えていて審査に非常に時間がかかっているということが指摘されるようになってきたこと、当初これまで努力目標のグレーゾーンであった研究が研究審査委員会にかけるという方向に移りつつあり、結構厳しい状況になるのではないかと懸念があることが報告された。

今後厚労省が行うアンケート結果を見ながら、AJMCとして意見を発信していく必要がある旨報告された。

#### (13) 男女共同参画推進委員会

厚生労働省公募委託事業「平成30年度女性医師等キャリア支援モデル全国展開事業」が

終了し、報告書が出来上がり、その報告書に基づき現在の女性医師のキャリア支援の状況について報告が行われた。支援制度はある程度充実してきているが、現実のニーズとマッチしているのかその検証をするとともに、支援する側も含めた全体的な見直しの必要性について、報告された。今後公的サポートの活用、自助努力の必要性そういった視点も加味して、報告書に基づく提言を取りまとめていく旨の報告がなされた。

#### (14) 医学部・医科大学の白書調査WG

白書調査が終了して、総会までには報告書が発刊されること、今年度は、発行後にWGを開催し、白書調査の課題を洗い出し、改善案をまとめ来年度の委員会に引き継いでいく旨の報告が行われた。

#### (15) 地域における医師養成の在り方に関する調査実施委員会

平成27年から文科省の受託事業でスタートし、当初の3年が終わりました、今年から新しい受託事業3年ということで継続することとなった。今年の傾向としては、ストレート卒業が少し悪化してきている、20年以前の過去調査との比較において、過去調査の辞退率に近づいてきている点は大きな課題である。他の調査でも地域枠に関する調査が実施されているが、調査ごとに少し数値の移動があるということは、地域枠の範囲が明確でないというところで、他の委員会と連携して進めていくことが報告された。

来年から方針が変わり、地域枠のあり方が変わるが、調査項目自体は全て網羅しているので、数の移動というところで変更になってくると想定している。

## 8 その他報告：

### 1) 三者懇談会—文部科学省・厚生労働省・全国医学部長病院会議—

教育改革の初期臨床研修のあり方で、2020年からスタートするものについて、今まで到達目標ごとにプログラムを組めたのが、科を指定する外科、内科、救急、産婦人科、小児科、精神科、あと地域医療というふうになったということに関して議論があり、今後教育委員会で検討を行い、調査等を踏まえ、厚労省、文科省とデータを出しながら、AJMCとして意見を発信していく旨の報告がなされた。

### 2) 医療に関する懇談会—日本医師会・全国医学部長病院会議—

特に初期臨床研修制度に関しては、日本医師会の横倉会長も「そろそろ検証した上で実際の教育現場の医師育成、専門医養成に対して有利な、有益な制度に制度設計をしていくべきである」という発言があったので、AJMCとして、こういう場を使ってデータを示しながら味方を増やし、発信をしていく旨報告がなされた。

9 その他：

令和元年5月31日開催の定例社員総会について説明を行い、審議事項第1号議案から第5号議案及び第7号議案を提出することが了承された。

以上ですべての議案の審議を終了したので、閉会した。

議事の経過及びその結果を明確にするため、この議事録を作成し、出席代表理事及び監事は下記に記名押印する。

平成31年4月25日

一般社団法人全国医学部長病院長会議 理事会議事録

議 長  
代表理事

山下英俊 ( )

監 事

岡村吉隆 ( )

監 事

別所正美 ( )